

都合のよいことだけを公開し、都合の悪いことはギリギリまで隠すという体質を転換し、全ての情報を公開。市民の意見を聞く事ができる体制をつくります

★市役所改革

- 市長を含めた特別職報酬は3割カット、4年に一回出る退職金（約2千万!!）を廃止します。議員定数は削減に向けて議会と相談、提案します
- 幹部ポストへの内部公募・一般公募制度を導入し、民間専門職の登用を行います
- 職員が課題を共有し、共同して解決するため組織改編を行います
- 第三者委員会で市役所業務の見直しを行い、職員定数の見直しを行います

★情報公開

- まちづくり条例を改正し一定の要件の元に議会、市民からの発議での住民投票が可能にします
- 審議会、各種委員会への市民参加を市長の努力義務ではなく法定委員会以外は半数以上を市民の公募とし、全ての委員会を全面公開します
- 公共施設等の使用料金について行政サービスのコストを公表し、税の見える化を促進します
- 弁護士、公認会計士等の専門職、経済関係者等とネットワークを充実させたシンクタンクを創設します

経常収支比率
全国自治体
1739市町村中、

下から数えて27位!

自由に使えるお金はたった00.2%!!

★福祉・教育

- 病院間をループするバスの新路線を開設し、子どもからお年寄りまで病院に通院出来る環境を整えます
- 介護老人保健施設等の増設を図り、老後も安心してくらす事のできるまちづくりを実現します
- 人を敬い、優しい心を醸成するために、道徳・倫理教育の推進を図ります
- 中学校の給食を実現し、子育て世代のお母さんの負担軽減を図ります

★財政再建

- 敬老バスは維持した上で過去、実態が一度も検証されていない市営バスの助成金5億3千万の用途を調査します
- 所有する公共施設の管理形態を改め、ランニングコストの軽減を行います
- 補助金制度全体を見直します。
- 市長自らがトップセールスマンとし、企業誘致を進め雇用と税収増を図ります

伊丹市の未来のために、2045年と言われるリニア開通時に備え、
その時にどうするのではなく、今から準備を進め新たな産業拠点として整備します

★地域の絆を

- 共同利用施設の地域譲渡等、コミュニティの醸成を支援します
- 地縁団体・福祉団体の法人化を推進し、ふるさと納税制度などを活用した寄付主体を増やし、地域への寄付がしやすい支え合える環境を作ります

伊丹市

Itami City

★産業拠点へ

- 2045年、万一の廃港となる場合、航空機関連産業の誘致をすすめ、旅客空港から産業空港への転換をはかり、日本初の航空産業拠点とします
- 伊丹市への空港関連収入を現在の13~14億円から50億円まで増やし（2045年）、雇用、消費の拡大で市税収入を増加させます

昭和35年7月27日 伊丹市生まれ 52歳

双葉幼稚園、伊丹市立笠原小学校、私立高槻中学校・高等学校、下関市立大学経済学部を卒業

平成6年～岩城敏之司法書士事務所開業

平成6年～平成13年（社）伊丹青年会議所時代、

青少年育成活動・福祉団体支援活動・大阪国際空港問題に携わり、まちづくりを考える。

平成16年（社）伊丹青年会議所 理事長

平成19年～平成25年 市議会議員として活躍。

司法書士として、まちの法律家の目線から、企業誘致支援や、災害相互協定等の条例を実現させる。

伊丹市のまちづくりについて、

みなさまからのご意見をお寄せください。FAX：072-782-3011 office@iwakitoshiyuki.com

お名前

ご住所

TELorFAX